

天より舞いおりた、美しい音色に魅せられて。

IMAMURA Yoshitaro

TICKET

チケット販売 「今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会」にご入会の方は割引になります。

- ▶ SS席 一般価格 10,000円 会員価格 8,000円
- ▶ S席 一般価格 8,000円 会員価格 6,400円
- ▶ A席 一般価格 6,000円 会員価格 4,800円
- ▶ B席 一般価格 4,000円 会員価格 3,200円
- ▶ 自由席 一般価格 3,000円 会員価格 2,400円
- ▶ 学生席 一般価格 2,000円 会員価格 1,600円

※当日券は、各席の価格にプラス1,000円となります。

会員価格 について

「今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会」会員の方は会員価格にて販売致しますので、購入の際は公式LINE、または、直接、下記「今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会事務局」までお問い合わせ下さい。

今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会事務局

TEL.070-5416-2621 FAX.092-841-4800
yoshitarou0423@gmail.com

一般価格チケット販売 会員価格チケット販売

観世流能楽師 今村嘉太郎公式サイト
<https://www.yoshitaro.jp/>

一般価格チケット販売



■ SS席 ■ S席 ■ A席 ■ B席 ■ 自由席・学生席

大濠公園能楽堂 TEL.092-715-2155

一般価格チケット販売

電子チケット販売

お好きな座席が選べてその場で決済、スマホで入場も楽な電子チケット。詳しくは、右記のQRコード、または、下記のURLでご確認下さい。
<https://teket.jp/7200/30185>



一般価格チケット販売

SPONSOR

今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会

能楽についての知識や背景を深く学ぶことにより、その舞台をより楽しく鑑賞し更にはこれらを我々の人生の糧とすべきだと思います。

今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会 会長 篠原 俊

私たちは能楽と今村嘉太郎君を応援します

※五十音順に掲載

阿部 和宣 様	一ノ瀬 勇 様	今村 健二 様	大森 康一郎 様
小澤 利男 様	川原 正孝 様	木村 政信 様	小齊 康正 様
佐伯 岳大 様	佐藤 栄治 様	篠原 俊 様	管谷 怜子 様
杉原 茂之 様	高山 成吉 様	筒丸 貴行 様	中村 信喬 様
西高辻 信良 様	長谷川 裕一 様	浜崎 大吾 様	平岡 啓 様
安川 哲史 様	山本 慎一 様	吉田 知子 様	吉村 秀二 様

主催 | よしたろう会

後援 | 福岡市・今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会

今村嘉太郎

観世流 能楽師

天より舞いおりた、
美しい音色に魅せられて。

第二回 よしたろう会



noh. **TENKO**
IMAMURA Yoshitaro

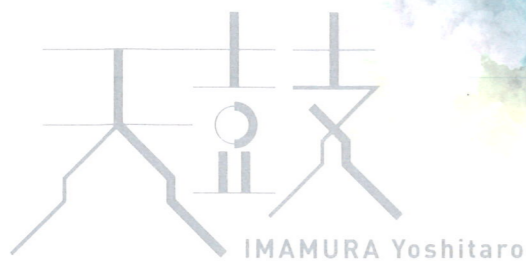
Ochori-Nougakudou

2024. **3.16** sat

開場 ▶ 13:20 開演 ▶ 14:00

会場 ▶ **大濠公園能楽堂**

福岡県福岡市中央区大濠公園1番5号



▼ 天鼓のあらすじ

中国・後漢の時代、王伯・王母という夫婦に授かった子ども「天鼓」は、不思議な生い立ちでした。この子は、王母が、天から鼓が降って胎内に宿るとい夢を見て授かりました。するとその後、本当に、妙なる音色をたてる鼓が天から降ってきました。天鼓は、この鼓とともに育ちます。その鼓の発する音は、大変に素晴らしく、人々を感動させ、悦びを導くものでした。そのうわさが皇帝の耳に入り、鼓を召しだすようにとの勅令がくだされます。ところが、天鼓はこれに応じず鼓を持って隠れてしまいます。しかし、あえなく捕らえられ、呂水に沈められてしまいました。鼓は、宮殿に運ばれてさまざまな楽師が試みに打ちますが、主の天鼓を失ったためか、全く音を発しません。誰が打っても鳴らないため、皇帝は、天鼓の父・王伯に鼓を打たせよと、勅使を送って召しだします。王伯は、鼓が鳴らなければ自分も殺されるのを覚悟で宮殿に上がり、わが子への思いを胸に鼓を打ちます。すると、この世のものとは思われない音色が鳴り響きました。感動した皇帝は、王伯に褒美を与えて帰し、天鼓の冥福を祈るため、呂水のほとりで管弦講をおこなうことにしました。講の当日、皇帝が呂水に御幸すると、天鼓の霊が現れ、懐かしい鼓を打ち、管弦に合わせて、ひとしきり喜びの舞を舞います。楽しいに舞う天鼓は、ほのぼのと夜が明け、空も白む頃に現か夢ともつかないようにして、消えていくのでした。



今村嘉太郎

シテ方 観世流
1980年 福岡生まれ福岡在住
大西智久に師事
幼少より祖父・誠、父・嘉伸に稽古を受ける。

1982年 能「鞍馬天狗」初舞台
1992年 能「菊慈童」初シテ
1998年 東京芸術大学入学
2003年 大西智久へ入門
2010年 独立

2009年 「狸々乱(しよじょうみだれ)」
2012年 「石橋(しゃつきょう)」
2015年 「道成寺(どうじょうじ)」
2018年 「望月(もちづき)」
2022年 「安宅(あたか)」を抜く。

公益社団法人能楽協会会員

スマホ de 解説

解説
無料

当日は、スマホとイヤホンがあれば、「天鼓」の解説を無料で聞くことができます。会場にあるQRコードを読み取り、ご利用ください。使用方法などは、会場入口でご確認ください。スマートフォンの機種や設定によっては「スマホ de 解説」をご利用頂けない場合がございます。ご了承下さい。
※ 音声の再生は、必ずイヤホンをご使用ください。

必ずイヤホンをご持参ください。

事前講座 会場：大濠公園能楽堂楽屋

2024.2.17(土) 10:00 ▶ 11:30

大濠公園能楽堂楽屋 楽屋口よりお入り下さい。
チケットをお持ちで無い方も無料で受講できますのでお気軽にご参加ください。

どなたでも参加できます。

附祝言

後見 大西 礼久
今村 嘉伸

天鼓

弄鼓之舞

勅使 御厨 誠吾
勅使の従者 吉住 講

小鼓 大鼓

成田 達志
白坂 信行

菅 田中 達
杉 信太郎

地謡
今村 哲朗
宮本 茂樹
山口 剛一郎
久保誠一郎
坂口 貴信
谷本 健吾
今村 一夫
武田 文志

終演 16時半ごろ
※許可なき撮影録音はご遠慮ください

能

王伯・天鼓の霊 今村 嘉太郎

棒縛

太郎冠者 野村 万禄

次郎冠者 主 吉良 博靖
杉山 俊広

後見 雪野 洸太

「休憩 20分」

狂言

玄象

今村 雛子

地謡

今村 哲朗
今村 嘉伸
今村 嘉太郎

仕舞

▼ 天鼓の見所

前半では、わが子である天鼓を失った王伯の、悲運の別れに対する情愛と嘆きを中心に描き、後半では一転して、天鼓という神秘的な存在の芸術に遊ぶ、自由闊達な精神を中心に描いています。前後で老人から子どもへ、シテが大きく入れ替わり、対比の妙があるところに、もう一つの天鼓である不思議な鼓をからませ、非常に魅惑的な芸術性の高い物語に仕上がっています。「天鼓」とは、七夕の牽牛の別称でもあり、出生の不思議さを思えば、天鼓は、天上人の化身なのかも知れません。呂水に現れた亡霊は、怨恨や恩愛といった、この世の情念からかけ離れた精霊のように描かれています。



第三回 妙音無我「班女」
2023年11月3日

第一回 よしたろう会「融 舞返之伝」
2023年4月1日